

思い出に残る松井繁先生と過ごした日々

星子廉彰

061-0222 当別町元町 104

*1977年の日本白鳥の会・イギリス野鳥見学の旅に参加しました。特にスリムブリッジの国際野鳥研究所で世界中のガン、ハクチョウ、ガモが自然のまま飼育されていたのには感動しました。

*1980年、日本白鳥の会会長として、札幌で開催された日本 I W R B 主催のハクチョウシンポジウムに、広く世界から関係者を招かれました。シンポジウムでは充実した研究発表が行われ、更にスリムブリッジの国際野鳥研究所マッシュウズ博士との再会は、大きな実りあるもとして収穫でした。

*1993年、日本白鳥の会の総会・研修会が美唄市で開催されましたが、海外からは特にロシアサハリン州狩猟管理局のアンドレイ・ズドリコフ主任技師が招かれ、サハリンや千島列島のハクチョウの生態・保護の講話があり、より充実した研修が出来ました。

*再三のサハリン、マガダンの探鳥の旅では、よきリーダーのロシア人とウオッカー時には胡瓜のピクルス漬を肴にくつろいだ一時を松井先生は過ごされていました。

*東北地方で越冬していたアメリカコハクチョウが北上したとの情報を得て、早速空知の水田地帯で大群の中にいるのに会うことが出来た時は感激しました。

*1993年2月12日、北上郡金崎町赤岩堤にトランペッターズワンが飛来しているとの情報を得て、早速出かけ、近くでよく鳴く姿を観察しました。イギリスでは1977

トランペッターズワン。霽降る中、よく鳴いていました。

年に2羽観察しました。

*1993年4月13日、南空知樺戸郡月形町月ガ湖でハクチョウを観察中、早朝5時頃トランペッターズワンが目に飛び込んできました。しばらく観察を続けて、沼から離れる途中、思いもかけず、松井先生の何か珍しいのが飛来していますかとの声にびっくりしましたが、1羽凄いのがいますと報告して別れました。

松井先生には大変お世話になりました。